

学校教育目標
いきいき なかよく
りそうに向かって
考動する子

学校だより

京都市立稲荷小学校
校長 大野 利和
令和元年10月

令和元年度 前期学校評価報告

お忙しい中、ご協力いただき誠にありがとうございました。

学校教育目標に照らし合わせ、アンケートの内容を「生活に関すること」「学習に関すること」の二つの視点で調査をしました。また、今年度も「児童」「保護者」「教職員」それぞれの立場での自己評価という形でアンケートを行いました。

その結果をもとに現状を把握し、今後の学校の取組に活かしていく視点で分析・考察をしましたので報告いたします。

アンケート結果集計

子どもたちの生活を よりよいものに 自らを振り返り、 互いに高め合う			1そう思う			2だいたいそう思う			3あまりそう思わない			4そう思わない		
			児 童	保 護 者	教 職 員	児 童	保 護 者	教 職 員	児 童	保 護 者	教 職 員	児 童	保 護 者	教 職 員
生活 面	1	自分から進んで挨拶ができています。	70%	45%	70%	20%	50%	30%	7%	4%	0%	3%	1%	0%
	2	先生に相談する。	42%	37%	30%	34%	60%	60%	13%	2%	10%	11%	0%	0%
	3	自分のよいところと言える。	49%	33%	30%	24%	57%	70%	17%	10%	0%	10%	0%	0%
	4	友達を大切にし、仲良くしている。	80%	44%	11%	16%	52%	89%	3%	4%	0%	1%	0%	0%
	5	忘れ物なく学習の準備ができています。	43%	27%	0%	39%	57%	100 %	13%	15%	0%	6%	1%	0%
	6	係や掃除・給食当番の仕事を最後まで できています。	83%	15%	50%	13%	33%	50%	3%	46%	0%	1%	6%	0%
	7	はきものをそろえている。	66%	22%	44%	23%	59%	33%	8%	18%	22%	3%	2%	0%
学 習 面	8	授業がよくわかる。	66%	48%	11%	30%	43%	89%	5%	10%	0%	0%	0%	0%
	9	授業中、話を最後までしっかり聞く。	63%	41%	33%	26%	52%	67%	9%	6%	0%	2%	1%	0%
	10	授業中、自分から進んで発表している。	48%	20%	44%	26%	50%	56%	16%	26%	0%	9%	4%	0%
	11	家庭学習や宿題を進んでしている。	65%	40%	0%	23%	50%	100 %	9%	10%	0%	3%	0%	0%
	12	本をよく読んでいる。	53%	26%	11%	20%	42%	67%	14%	32%	22%	13%	0%	0%
	13	稲荷地域のことが好きである。	62%	12%	11%	25%	35%	89%	8%	41%	0%	5%	12%	0%

アンケート集計より

今回のアンケートでは、保護者の方から、たくさんのお声をいただきました。その中には大切なお子様に、愛情をもって、根気強くかわかっておられる思いが詰まっています。

低学年のお子様を持つ保護者の方の悩みも、高学年のお子様を持つ保護者の方のご意見をうかがうと、安心できるようなものもあります。

今後も、保護者同士、学校と保護者・地域がつながって子どもたちを支えていきたいと感じました。

生活面について

1 自分から進んで挨拶ができています。

（保護者）進んで挨拶できるように、家でも挨拶をしている。

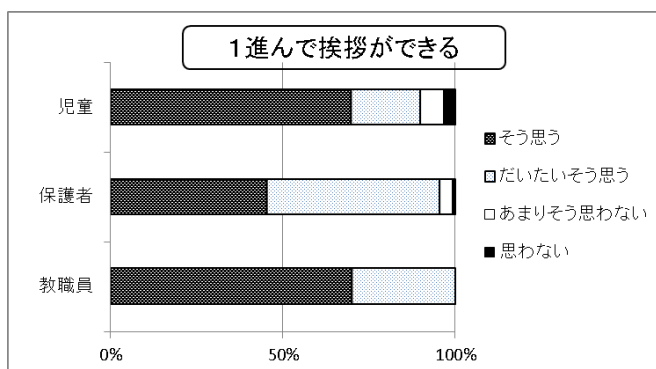
（教職員）進んで挨拶できるように、教職員自ら挨拶している。

保護者回答の「大体そう思う」を含むと、95%のご家庭で家でも挨拶をしているとの回答はすばらしく、そのまま子どもたちに反映されているように思います。

しかし挨拶ができていないとは思わない子どもは10%というのは気になります。

学校でも、人と通じ合えるような、素敵な挨拶のできる稲荷っ子に育ててほしいと考えています。

三者比較グラフ



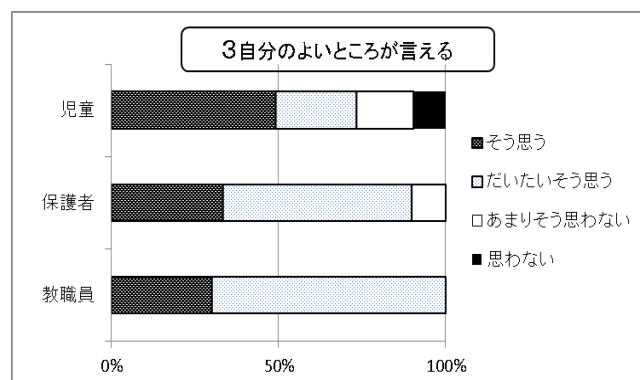
3 自分のよいところと言える

（保護者）子どものよさを認め、褒めるようにしている。

（教職員）良さを積極的に見つけ、認め、褒めている。

褒めることは、なかなか難しいものです。子どもから見て褒められると嬉しいことを、ピッタリのタイミングで褒めると効果絶大ですが、なんでもかんでも褒めてしまうと、言葉に重みがなくなってしまいます。

子どもは、その存在自体が素晴らしいのですから、そのよいところを具体的に言葉に表して褒め、そこが大好きだと伝えてあげましょう。



4 友達を大切にし、仲良くしている

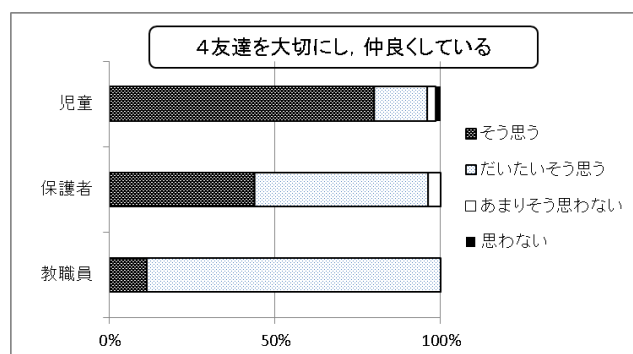
（保護者）友達を大切にし、仲良くするように働きかけている

（教職員）友達を大切にし、仲良くできる学級づくりに取り組んでいる。

ご家庭でもよく声をかけていただいております。感謝いたします。

仲良くするということには、相手が存在することで、「親切にする」「笑顔を見せる」「思いやる」「話に耳を傾ける」「一緒に遊ぶ」「つきそう」「協力する」など多面的な側面があります。

学校では、子どもたちの友達に対する「言葉づかい」も重要視しています。人を大切に思う心は言葉に表れやすいと思うからです。



5 忘れ物なく学習の準備ができている

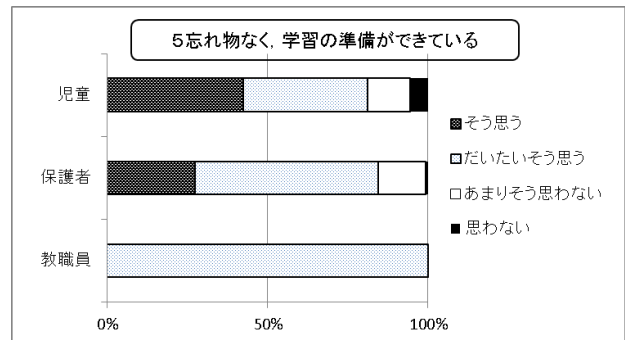
（保護者）学習準備する習慣が定着するよう働きかけている。

（教職員）学習準備する習慣が定着するよう働きかけている。

毎日いろんな物を持ち帰り、時間割に合わせて、また持って来ます。イレギュラーなものもあれば、日にちを指定した物もありますので大変です。しかし、これも学びです。忘れ物を無くするためにはどうすればよいか。自分のこととしてしっかりと考えてほしいと思います。

忘れ物をしない人は、きっと良い習慣を実践しています。忘れ物に悩んでいるご家庭は、作戦を考える良い機会かもしれません。

三者比較グラフ



学習面について

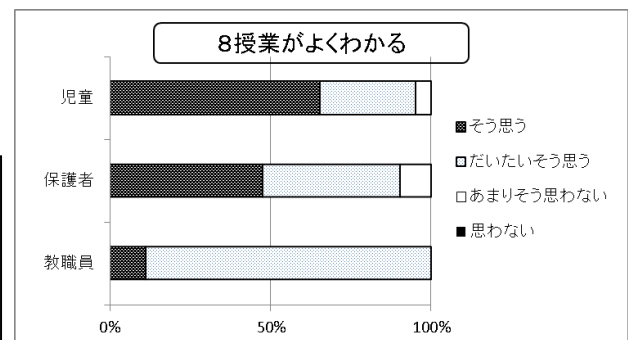
8 授業がよくわかる

（保護者）授業が分かりやすいと言っている。

（教職員）授業がよく分かるよう、学習課題・めあてとまとめ・振り返りを行っている。

保護者の方の「そう思う」の意見が昨年度の後期に比べ17%も増えているのは喜ばしいことです。

学校では、ノート検定を通して、子どもが学びの質を意識できるようにしたり、補習の時間を工夫したりして、1時間1時間の授業での学びが着実に積み重なっていくよう自己評価と授業改善を繰り返しているところです。



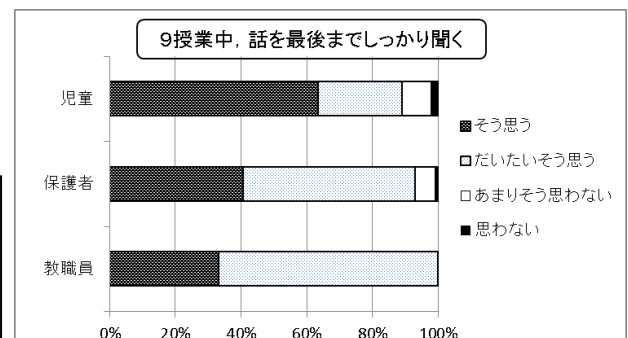
9 授業中、人の話を最後まで聞く

（保護者）人の話をしっかり聞くよう働きかけている。

（教職員）授業中、人の話をしっかり聞くよう働きかけている。

学びの中でも「聞く」ということは大変重要です。理解しようとして聞くと脳は活発に働きます。また、人とのよいコミュニケーションを築きます。

子どもにとって、自分の意見をしっかりと聞いてもらえる経験も大事です。聞き方のポイントは「相手の顔を見て」「うなずきながら」「最後まで」共感的に聞くことだそうです。



10 授業中、自分から進んで発表している

(保護者) 授業中、進んで発表するよう励ましている。

(教職員) 授業中、進んで発表するよう働きかけている。

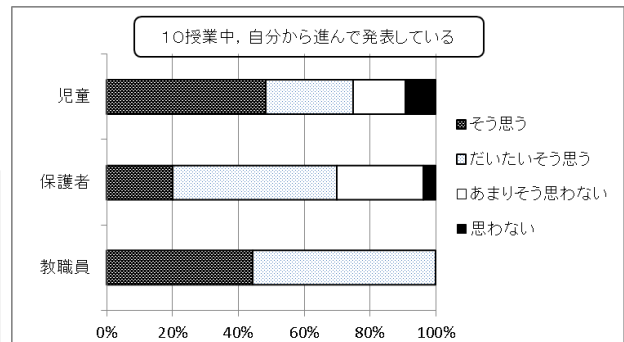
授業中、特に高学年の子どもの中には、情報をインプットしようと一生懸命な様子が見られます。しかし一方で、自分の言葉で説明したり、自分の考えを伝えたりすることには消極的です。

発表することは内なる思いを言語化して公にすることで、難しいだけでなく様々なルールも絡んでくるので、それを感じて意識してしまう子にとっては勇気のいるものです。

ここでも、聞き方上手が大切になってきます。

学校では、聞き方上手な学習集団作りも意識し、取り組んでいます。

三者比較グラフ



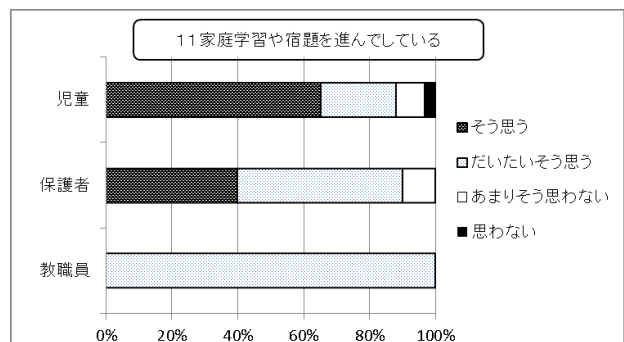
11 家庭学習や宿題を進んでしている

(保護者) 家庭学習の習慣が身に付くよう働きかけている。

(教職員) 家庭学習の習慣が定着するよう働きかけている。

学んだことを定着させ、家庭学習が習慣化するように宿題を出していますが、宿題をするのに精一杯だと自主的な学びには、なかなかつながりません。

習い事などで時間の調整がつかないこともあるかと思いますが、そうでない日には、あと少し、読書をしたり地図や図鑑を見たり、辞書を読んだりドリルをしたりといったお楽しみ学習にも積極的に取り組んでほしいと考えています。



13 稲荷地域のことが好き

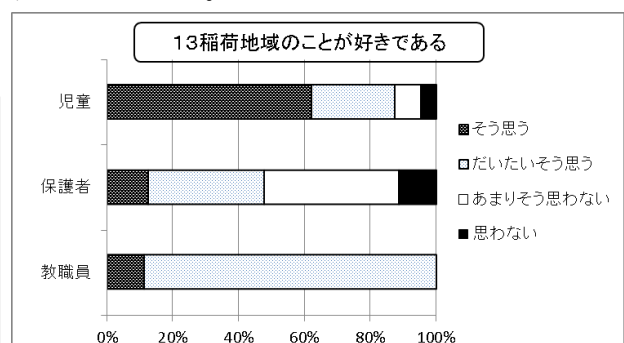
(保護者) 家庭で稲荷地域の良いところを話す機会をもっている。

(教職員) 稲荷地域の良さを学べるような教材・単元作りをしている。

一年中「伏見〜るカルタ」に熱中している子もいる稲荷小学校。

学校では、総合的な学習の時間や生活科の学習の中で、「いいよね いなり」を合言葉に、稲荷の町の好きなところを見つけたり、観光で人気のまちの良さを探ったり、歴史のまちを守る地域の人の思いを調べたりしています。

ご家庭でも、こうした学習について是非話題にいただき、地域を見直す機会にしてください。



＊保護者自由記述より ～同じ稲荷小学校保護者として～

- 褒めて育てたいです。すぐに注意せず、見守れるようがんばります。
- もっと自分の役割を与えて、家庭でも日々達成感を得られるようにしていきたい。まだまだ親として子どもと共に努力して成長していかなければと思います。
- 初めての勉強も先生のおかげでとても楽しく取り組んでいます。
- 質問を見ていると、そうじや片づけと授業中の発表、地域の良いところを話す機会があまりできていないので、今後気をつけたいと思います。
- 学校でも褒めてもらっている（本人に自信を持たせてくださっている）様子、本当にありがたいと思っています。「ほめてくれはった。」と笑顔で私に伝えてくれるのが嬉しいです。土曜学習も「また行きたい！」と笑顔で帰ってきました。
- いつも、校内や地域で子ども同士声をかけ合う姿が見られて安心しています。
- 働きかけは行うようにしております。実際に行動ができるかは、まだまだなところがあります。
- いつもお世話になりありがとうございます。毎日、「楽しかったあ。」と帰ってきます。授業もよく分かるようで感謝しております。
- この自己評価を記入すると、親として子どもに働きかけが手薄になっているところが明確になり、親自身の振り返りにもなっています。日々の生活で流れてしまっている部分も多くあるので、しっかりと子どもと向き合えるように心がけたいです。
- 体調の悪い時も、そうでない時も気にかけいただきありがとうございます。休み時間の運動場の遊びも楽しいようで安心しています。
- いつも子どもの良いところを引き出して自信を与えてくださり、感謝しております。
- 学校の準備や宿題など、自主的に出来るようになっており、忘れ物をしてしまった時には、自分でダブルチェックをするなどして、問題にも自分で対処する姿も見られます。家では、姉と一緒にお布団をなおしたり、ごみ出しをするなどお手伝いしてくれることも増えました。本を読むようにと、こちらから声かけをしたり、購入したりと努力してはいるのですが、自分ではなかなか借りる本の幅が広がらず、平易なものや、いつも同じジャンルのものに偏りがちなようです。先生やお友達から、折にふれて良書を紹介していただければ嬉しいです。
- 学年が上がリ、学校で習ったことや、先生から学んだことをとても話すようになりました。学習に対して意欲を持ち、勉強も嫌がることが少なくなりました。前向きに何事も取り組めるようになったと思います。親が言う前に準備などが出来るようになったと感じることが増え、とてもうれしく思っています。自ら進んでやっているので、口を出さないようにしています。
- 子どもの体調について、担任の先生からアドバイスをいただいて以来、私自身も本人のコンディションを違う角度から見られるようになりました。
- 授業をとても楽しみ、努力を楽しむよう成長してきています。
- 子どもに目線を合わせて、しっかり見ていただいており、大変感謝しています。
- なかなか子ども同士では解決できないことも多く、先生に相談するように言っています。
- 掃除や後片付けの習慣がつくように働きかけていますが、なかなか上手くできないようです。物をなくしたり忘れ物をよくするという結果にもなっています。自己管理ができるようになるためにどうすればよいのか日々悩んでいます。
- 本を読んでもらいたいのでは伝えてはいますが、なかなかじっくりと本に向き合うということができていないように思います。いろいろな方のお話を聞いても、やっぱり本は大切だと感じているので、子どもにもそういう機会が増えればいいなと思います。
- さすがに6年生になると身の回りのこと、準備、後片付け等を自分の責任において出来るようになったと感じています。出来そうなら「任せる」「見守る」ことで自主性を育めればと思います。本を読むようには声をかけたり購入してみたりと努力していますが、本人はなかなか…という感じでどうしても平易な本にしか手が出ないようなので、先生やお友達から折にふれおすすめの本を紹介していただけたら嬉しいです。

- 6年生になり、振り返ってみれば少しずつ自分の思い・考えが芽生え、それを実現するために、また自分で考え、行動に移せるようになってきたように思います。とても成長を感じます。
- 4月よりも楽しく学校に行く様子が見られます。いつも気にかけていただき、ありがとうございます。
- 自分の机、自分の食べた食器、洋服はせめてやってほしいですが、その声は右耳から左耳へ流れています。怒るとします。その前に自分から行動してほしいです。
- 身の回りのことはほぼ自分でやっています。学校でも先生の声かけや見守りの中、自立心が育ってきていると感じています。

ご意見の中に、本校の教育目標にある『考動する』という造語に対して、子どもが間違った漢字を覚えてしまうというご指摘がありました。

この言葉については、折に触れ、思いを込めた造語であることを子どもたちに話してまいりました。しかし、確かに子どもたちには、正しい漢字と、敢えて造語で表現することとの兼ね合いは、理解し難いことかもしれません。

そこで、子どもたちの目に触れる場所や教室に掲示している、学校教育目標の『考動する子』の部分を『考えて行動する子』と改めて掲示することにいたしました。

皆様からいただいた貴重なご意見をこれからの学校運営に活かしてまいります。そして、学校と保護者の方とのさらなる連携を深めて取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。